# ひかりの丘

第92号
2012.6.30

社会福祉法人 いわき福音協会
福島整肢療護園
〒970-8001
福島県いわき市平上平窪字
古館1番地の2
TEL.0246-25-8131
FAX.0246-22-1259
http://www.ryogoen.jp/
E-mail.info@ryogoen.jp

最近のりょうご園の
様子は
P2・3へ

目次

H24 START !! ―― 2・3
福島整肢療護園の歩んできた道とこれから ―― 4
HAPPY通信
「プレイバックシアターを体験しました!」 ―― 5
ご存知ですか？
「学術教育委員会・園内研究発表会について」 ―― 6
りょうご園カフェへようこそ！ ―― 6
編集後記 ―― 6

# H24 START!!

## お花見

昨年できなかった
お花見をしました！

りょうご園の桜が満開となりました。
昨年は震災、原発事故と続き確か桜も咲いていたのに、お花見をしよう！
という気持ちにはなれず…と思った方も沢山いらっしゃるのでは？
そんな思いを振り返りつつ二年越しの桜を感慨深く観賞しました。
特に職員駐車場前の桜は道を覆う様に素晴らしい桜のトンネルとなりました。

りょうご園名所
さくらのトンネル

お花見当日は満開になりました♪

きれいだね～

天井も満開！

## 社会交流

大好きなおもちゃに囲まれて
笑顔がとまりませ～ん
（トイザラスにて）

バスに乗ってお出かけ～

光司さ～ん（運転手）
運転グッドだぜぇ～

お友だち
できるかな～

りょうご園でも
電車に
乗ったよね～

去年はいけなかった
アクアマリンにも行ったよ❤

現在りょうご園で生活されているお友達の中で、未就学児は女の子一人です。
療護園の中での生活だけでは、同じ年頃の子どもとの交流ができません。
そこで法人内事業所の小島保育園の協力により、1年前から保育活動に
参加し交流しています。たくさんお友達作ろうね♪

# 震災から一年…気分も新たにみんな元気に過ごしています！新しい試みも始めました！！

## 『オープンミュウ』はじめました！！

毎日のミュウクラブ（余暇活動）を
今年度から公開しています。
ご家族の皆さま、ぜひご参加ください。

4/27（金）
「音あそび」

6/5（火）
「ミュージックケア」

5/14（月）
「プレイバルーン」

次回オープンミュウ

| | |
|---|---|
| 8/24（金） | 水遊び |
| 10/2（火） | 十五夜 |

10:30〜11:15
場所　3病棟ホール

## パソコンクラブ

### フリーダム
### もうすぐフリーダム

子どもたちのパソコンクラブも震災前と同様に
毎週水曜日の午後に子どもたちがやりたいことを
中心に元気に楽しく活動しています。インターネットを
駆使して避難していた施設や学校を調べるお友達もいます。

今日
なにしよう！

避難していた
時の友達や
先生が面会に
来てくれたよ♪

みんなとまた
スカイプ
やりたいな〜

私、スイッチ
1つでメールを
送れます！

# 「福島整肢療護園の歩んできた道とこれから」

園長　渡邊信雄

生誕107年、創立60周年。今年は福島整肢療護園を開設された大河内一郎先生が明治38年(1905年)に誕生されて107年、没後27年となり、大河内先生により療護園が昭和27年(1952年)に開設されてから60年目を迎えます。御存知の方も多いかもしれませんが、ここで大河内一郎先生と療護園の歩みについて資料を基に御紹介し、これからの療護園について述べたいと思います。

療護園の開設者の大河内一郎先生は現茨城県鹿嶋市に生まれ、磐城中学校の武道教師となられた父親の転居とともに3歳でいわきに転居してきました。磐城中学校に入学後、先生が16歳のときに父親が接骨院を開業、その父親の猛反対を押し切って中学3年のときに救世軍の路傍伝道に接してキリスト教信仰に入られました。中学校を卒業後、神学校に入学されましたが、宗教か科学かのジレンマに悩んだ末に3ヶ月で中退し、日本医科大学に進学、整形外科医となられました。在学中に小原国芳の理想の学校に出会い、先生の

夢が育まれました。昭和9年(1934年)に結婚されたときに、奥様に次の様に夢を語られています。「いつかは医学と教育を結びつける仕事をしたい。百町歩位の原野を手に入れて、自給自足の病院を創めたい。耕作は医療の処方の一つであり、牛や羊を飼い、花をつくり蜜蜂を養うのも、音楽を学びチャペルに祈るのも療養の一つだ。治療をしつつ学ぶ、ミッション・ホスピタルスクールを創めたいんだ。」と。昭和9年から平才槌小路に大河内医院を開業されていましたが、昭和19年5月に軍医として招集されてフィリッピンで従軍、終戦後約2年間ルソン島に俘虜としてアメリカ軍収容所で過ごされています。その収容所生活の間に風の子・光の子「療護園」構想が練られました。

昭和22年1月に復員して帰郷後、平キリスト教青年会を結成し、実践を伴わない信仰も思想運動も無価値と考えて、社会福祉事業に着手していきます。終戦後の廃墟と混乱の中での事業の展開がいかに困難であったかは想像に難くありませんが、「たとえ苦しくともなんと批評されようが誰もついて来なくとも私はこの道を歩まねばならないこれが私の生きる道だから私はこの道を行く」の信条を貫き、昭和25年に「聖書的信仰に基づいて児童青少年の福祉事業をなすを目的とする」いわき福音協会の認可設立に漕ぎ着け、翌年に小島保育園が、2年後に福島整肢療護園が開設されました。「求めよ、さらば与えられん」と聖書に述べられているように、開設とその後の運営も地元の有志をはじめ、多くのキリスト者の支援により達成されてきました。大河内先生は医師、創立者に留まらず、多くの歌集、詩集、随筆も出版されている文学者でもあり、音楽そして映画「光の丘の子どもたち」の製作監督もされている偉大な先人です。

多くの支援者、そして先輩職員のご苦労の上に60年目を迎える療護園ですが、創設以来決して平坦な道ではなかったことが、大河内先生の著書にも記載されています。現在、内外の政治経済の不安定さから、日本の社会福祉の未来は不透明ではありますが、私は園長になって1年間、新たな勉強・経験をさせていただきました。その中で、全国重症心身障害児(者)を守る会の「最も弱いものを一人ももれなく守る」と言う原則に大きな共感を持ちます。今年2月に、園内での協議の上で療護園の基本理念を「医療をもって障害児者の療育と支援にあたり、地域の福祉に貢献します」と定め、「①障害児者の療育のために必要な医療、リハビリテーション、福祉を提供します。②障害児者の人権を守ります。③障害児者の安心安全に努めます。④障害児者と職員の信頼関係、連携の強化に務めます。⑤理念達成のために、職員の研修や研究的な取組みに努めます。⑥明日を担う医療福祉従事者を育成します。⑦地域の療育および福祉の拠点として、地域に開かれた施設を目指します。」を基本方針と決定しました。また、施設の組織も職員が意欲を持って働き易いように改訂しました。

これからは、療護園といわき福音協会が一体となって、大河内先生の遺志と地域の要請に真摯に向き合い、今までの弱点であった在宅の障害児者に重点を置いた医療福祉事業を展開して行きたいと考えています。

プレイバックシアターを体験しました！

# Happy通信

## Q プレイバックシアターってなんですか？

**A 吉原先生**

プレイバックシアターを演じる劇団プレイバッカーズのパンフレットには、プレイバックシアターについて、次のように説明されています。「プレイバックシアターは、ニューヨークで生まれた台本なしの即興劇です。1975年にジョナサン・フォックスの手により誕生しました。ルーツをたどってみると、驚くことに文字を持つ文明よりも、もっと古い時代にさかのぼります。」台本があるなしに関わらず、現代演劇のルーツは古代の即興劇の営みにありますが、共通して言えるのは、そこに人が集い、アクターも観客もその場を共有するすべての人たちが劇に参加し、作っているということです。「観客の皆様のごく個人的な体験や気持ちなどのお話（ストーリー）をその場でお聞きして、一切打ち合わせすることなく、即座に劇として演じます。脚本家によるあらかじめ用意されたシナリオは、ここでは不要なのです。」

## Q どうしてりょうご園で開催する事になったんですか？

**A OT 長船さん（旧姓 石井）**

2011年3月11日に発生した東日本大震災は日本中の人たちに大きな影響を与えました。私たちりょうご園の職員も、次々とおこる大きな揺れや、津波、原発事故のなかで、りょうご園では入院、通院するお子さんを守るスタッフとして、また家庭では親として子として、配偶者としてそれぞれの立場で、震災と向き合い行動しました。これまでの日常とはかけ離れた、大変な経験でした。震災から1年、今なら、プレイバックシアターを使って、あの時の自分を客観的に振り返り、当時の自分の状況を感情も含め受け止めることや、同僚のストーリーから相手の状況や気持ちを考えることが出来ると考えました。それは、りょうご園にとって必要なことと思い、劇団プレイバッカーズの協力を頂き、りょうご園での公演に至りました。

## Q 実際に開催してみてどうでしたか？

**A 吉原先生**

りょうご園では平成23年度2回に渡って、職員を対象にプレイバックシアターを開催しました。日常生活の中で、あるいは東日本大震災という大きな出来事の中で、私たちが感じた様々なことを私たち自身がテラーとなって語り、それをプレイバッカーズのアクターたちが演じることで、私たちは今までにない感動を共有するという体験をしました。

今後もまだプレイバックシアターを知らない方に、この感動を伝えていきたいと思っています。

### テラーとして参加した看護師 松本 浩美さんの感想

私も東日本大震災で津波被害に遭い、原発事故では30km圏内で避難を余儀なくされました。交通手段である車も流出してしまい、当園に避難させてもらいながら勤務していました。あれから1年近くが経っており、だいぶ落ち着きを取り戻したこともあり自然と話す気持ちになりました。いざ話してみると、自分のことながら準備なしで語ることの難しさを感じました。思いが伝わったか心配でしたが、アクターの方々は私の潜在する思いまでも汲み取り演じて下さいました。原発関連の不確実な情報が飛び交い「目に見えない恐怖」に自分や家族の命を守ることで精一杯で、思いを伝えることができない入園者への精神的支援が十分に出来ていなかった事が思い出されました。

このように自分を客観視できたことで、仕事に就いていられたからこそ心を強く持てたこと、何よりも多くの人に支えられている事を強く感じました。これからは、感謝の気持ちを忘れずに、入園者がハッピースマイルで過ごせるように関わっていきたいと思います。

### 参加したみなさんの感想

最初は、あんまり意味が分からなかったけど、見ていて、分かってきておもしろいなと思いました。

子どもでも分かるので、結構いいなと思って、自分の気持ちが見れるので、もっとその気持ちが深まるんじゃないかなと思います。

瀧澤 夕華さん（PT 瀧澤幸枝さんの娘さん）

見ると聞く（想像）では大違いで、あまりの強烈さに戸惑ってしまいました。まさにプレイバック。簡単なインタビューだけで、即座に心情まで含める演技。プロの凄さを見せつけられました。震災当時を思い出し、思わず涙する事も。10ヶ月経った今も心の整理ができない自分自身がいる事を知らされました。

検査技師　須貝 須美子さん

プレイバックシアターは私にとって未知の世界でした。私（観客）の気持ちや体験談を音と動きと無駄のないセリフで表現。その表現を見ていると…初めは結構驚いて、でも段々と、そう、そんな感じ当たってる！という楽しさ、何でわかるんだろう？という不思議で少し恥ずかしい気持ち、見入っているうちに感動へ。

様々な感情を引き出される、忘れられない素敵な世界でした。

PT　橋本 真希子さん

# ご存知ですか？～学術教育委員会・園内研究発表会について～

療護園では「職員の人材育成及び研修・研究発表を通して、リハビリテーション医療チームの一員としての資質向上を図る」ことを目的に、学術教育委員会が組織されています。

学術教育委員会では毎年2月に行われる『園内研究発表会』の実施、抄録発刊等に携わっています。

『園内研究発表会』は平成7年度より毎年開催され、去る平成24年2月16日には第17回を迎えることとなりました。毎回リハビリ、病棟、医療部、事務・給食等の各部署より10題前後の演題が発表されます。その中で、高い評価を受けた発表演題は全国肢体不自由児療育研究大会等の関係学会で発表を行っています。

これまでの園内発表では療育や子どもたちの生活に関する内容の演題だけでなく、事務受付窓口や運転業務に関する報告等、その内容は多岐にわたりました。

今回は、療育関係の発表の他、平成23年3月11日に発生した東日本大震災に関する演題（心のケアや震災対応のリスク管理等）が数多く発表されました。また、対外研修等に参加した職員による伝達講習会を行うようにもなりました。

これからも学術教育委員会の活動を通じて療護園全体の資質向上に努めます。

## 第17回園内研究発表

**演題**

| | |
|---|---|
| 1席 災害時の心のケア～福島第一原発事故から学んだこと～<br>3病棟　看護師　松本 浩美 | 5席 リハビリテーション外来患者の震災後の避難動向と今後の課題<br>リハビリテーション課　課長　相澤 幸代 |
| 2席 大震災の心理的回復過程の要因と医療従事者への心身の配慮について<br>1病棟　看護師　出羽 信芳 | 6席 非言語的コミュニケーションに対する一考察「なんとなくわかる」って何だろうー<br>3病棟　主任看護師　遠藤 俊子 |
| 3席 災害時の障害を持つ子どもの家族への支援のあり方<br>1病棟　看護師　中野 守雄 | 7席 重症心身障害者の口腔・嚥下機能と食形態の実態<br>リハビリテーション課　言語聴覚士　森 奈津紀 |
| 4席 被災した思春期の子どもの心の理解<br>1病棟　看護師　鈴木 郁子 | 8席 施設入所者の社会参加への言語聴覚士の取り組みー主体的活動を行うためにー<br>リハビリテーション課　言語聴覚士　作山 友望 |

※ 2席・3席・5席は全国療研、7席は重心学会、8席は東北療研で発表する予定です。

**伝達講習**

| | | |
|---|---|---|
| 報告1 | 「食品中の放射線にかかわる講演会」 | 給食　管理栄養士　加藤 すみ子 |
| 報告2 | 「災害看護」 | 1病棟　主任看護師　大澤 昌代 |
| 報告3 | 「ATAC研修」 | リハビリテーション課　作業療法士　木村 沙花 |

**その他報告**

「災害時の対応」
副園長　湊 純

## スタッフ通信 りょうご園カフェへようこそ!

このコーナーでは、当園のスタッフが好きなこと、気になることなどなどを自由におしゃべりします。スタッフの新たな一面がわかるかも！
第7回は、PT橋本真希子さんです。

### 『真希子流 子育て奮闘記!?』

昨年4月、新しい家族が増えました。名前は侑来（ゆら）、活発な女の子です。そんな侑来とベビーサインに挑戦しています。

ベビーサインは、赤ちゃんとお手てで話そう！というもので、赤ちゃんが表現するまで根気が必要ですが、普通の会話にサインを添えるだけ。サインはグーパーでできるものから、日本またはアメリカ手話、オリジナルのものもあるようです。

侑来が9か月の頃から実践し約2ヶ月。初めて表現したのが「おっぱい」。初めは気づかないほど一瞬のサインでしたが、今では、保育園から帰った時、眠い時、夜な夜な私の枕元ではっきりと。時には、知らないお母さんに向かってまで…笑。一生懸命に要求を訴えている姿はとても面白いです。

最近は、「食べ（飲み）たいな」「おいしいね」「もっと（ちょうだい）：写真」「おしまい」など覚えが速くなりました。要求を泣かずに訴えられ、私も理解できるので、お互い楽しくなってきました！次は何を教えようかな♪

## 編集後記

「今、福島が楽しい」…そう云いたくなるような話題が2つある。1つは来年の大河ドラマ『八重の桜』、もう1つはアイドル・岡田准一君主演の『天地明察』である。2人には「ハンサム」という共通点がある。「八重の桜」の主人公・新島八重は、その生き方を夫からハンサムだと評されたらしい。一方、岡田准一君はアイドルの格好良さと、他の映画でもスタントマンを入れず自分でハードアクションもする程に鍛えた体格は実にハンサムだ。この2つの話題作を心待ちにしているのは県民だけではないだろう。作家冲方丁さんと岡田君の各々のファンの人達も待っているに違いない。そんなワクワクする気持ちがTVの前に座らせ、映画館へと足を運ばせるのかもしれない。9月15日に「天地明察」が公開される。来年1月から大河ドラマ「八重の桜」が放送される。みんなで福島発の2人の物語を楽しみにしたいものです。(啓)